

なぜあいらんが

鈴木秀一

忘れもしないあの日から、そうだ夕暮れが近づく恋人との逢瀬の様にいそいそと飛び出していったあの日から程なくしてあいらんと言ひ言葉がポツポツと耳に入り眼につく様になつた。

「明るい街を皆さんの手で！」をモットーに西成警察署、大阪府、大阪市、そして地元防犯協会、商店街等の推進後援でキャンペーンの、のろしが挙げた。

しかし明るくなったと感じられるのは道路の水銀灯だけと思ひのはひがめか？

最近西成警察署がひどくリッパになつた。どうしてだろう。街が本当に明朗になつて、アイリンという言葉が皆んなの心の奥にどっしりと落ちついたとしたら警察をんで、むし

ろ縮少されて然るべきなのであろう。

この二、三年三角公園に於ける競馬競輪ポート等、又サイコロバクチはここをせましと全盛を誇り有識者諸氏は眉をひそめている。確か昨年のも事だつたらうか？ ほんの二、三日の間だけだつたが突然に以前の静かな公園に戻つた記憶がある。不審に思つて周囲に聞くと「本部の手入れらしいぜえ、それで用心してオヤスミらしい」との事である。他の日ならギャンブルの取締で巡回するポリさん達がいたくなると、「それ！」とばかりに、まだその後姿が遠くに見えるのにもうベニヤ板に貼つたギャンブル新聞を並べ出す程商売熱心なノミ屋諸君がその日に限りピタッと姿も見せない。それ程警察の機密がもれている

のだらうか？まさか、そんな事もあるまいが、なんだか灰色警察官と言ひ言葉がチラリと頭のすみに浮んで消える。

だが警察官とても人の子で個人個人と話をすると労働者に対する理解もあるし場合によると敬察と書き間違える程のポリさんも多い。どうか怪察であつたり形察であつたりしてほしくないと念っている。

ついでにもう一言。以前に「労働者渡世」にも投稿して「運命協同体」と題して書かして戴いたが、保健所の人達にももう少し考えて貰いたい問題は、釜ヶ崎に於ける飲食店の衛生観念の欠如である。現状では、果して西成には保健所があるか否かと疑いたくなる程である。

我等労働者は強健な身体がたつた一つの資本である。全財産であるその全財産を大事にするのは当り前の話だ。

「保健所のエライ人運よ。私がとほしいポケットの底をはたくから西成の店へ一度つき

合い給え」こり言つたら共に飲食する勇気があるだらうか？

カウンターのうでゴキブリがマラソンを試みているのをチラリと横目で見ても知らん顔のくわえ煙草の店員が決してめずらしくないのが貴方方のスイセンするアイリンの本当の姿の一部なのだ。

せめて客の使つた食器は水道から出し放しの水で、つまり流水で洗つて欲しい。

勿論全部の店がそうではない。随分と清潔な店もある。然し清潔だからといって不味いしあいその悪い店、高い店にはチョット行き兼ねる。だから安くて美味くて清潔が欲しい。

風呂屋も然り、浴客が湯舟の中に体をひたしたらその分だけ湯があふれこぼれる様な状態でも湯が浴槽のフチ迄マンタンになつているのでなければ清潔とは言えない。浴場の法規ではどうなつていのか？

湯舟のフチから一〇センチメートルも湯面が下つていたとしたら百十円の入浴料はチト

高すぎる。

色々書いたけれども、その一つ一つが明るい街づくりで直結しアイリンと言う精神につながつているのだから誰しもが関心を持つのだと思う。

労働者がフトコロの金をみんな飲んでしまったが最後、放り出して道路にコロガシて置く様な酒屋は皆んなでホイコットすべきであ

ろう。

労働者渡世の編集子もそんな店はほとんど記事にして皆んなの注意を喚起する事が読者に対する義務であらう。

それは酒屋に限らずドヤ、食堂、その他釜ケ崎の労働者を客として生計を立てている店の総てを対象としたい。それがアイリンの名にふさわしい最短距離である。

が取りにきておられませんか、できるだけ早く釜ケ崎生協(六三二一四二七三)に取りに来て下さい。連絡してもらえれば、書籍小包で送りますので、もらいそこねのないようにお願いします。

(一本歌也/矢吹平

ノ萩の茶屋M・H/上村ノ小久保勉ノ堺悪太郎ノ水岡一ノMARKI・Kノ尼M・Bノ豊中N・Kノ堺Y・SノHノ無記名44ノT・OノW・Yノ短歌H・Kノ人夫より)

先号でもお知らせしましたが、本誌十五号までを収録した単行本「労働者渡世」釜ケ崎通信」(風媒社刊二千円)が出ました。そこで十五号までに投稿してもらい、掲載させてもらった人には、この本を贈呈することになっていきます。しかしまだ後記の人

「良心的」な手配師の話

◎聞き書きシリーズ・第一話

以下、手配師の乙さんから聞いた話です。文中、私とあるのは乙さんのこと。

世間では私らのことを、どれい商人が何かのように言われて悪者あつかいしてまっけど、そら一部には悪いやつもいますわ。しかし、そんなでたらめばかりしてたら、商売になりませんわ。

そりでっしやる。あんたらかてケタオチ飯場につれて行かれたら、二度とその手配師から仕事もらう気になれまへんやろ。それどころか、釜共斗なんか五〇人も百人もつれておしかけてくるから、私ら二度と釜で商売さ

れんよりになりますわ。

私ら良心的にやってみせ。

まずはじめての飯場やったら、食堂や部屋を見せてもらいますわ。食堂はきれいにしているか、どんたもん食わしよるか。そりいうところを見してもらって、これならと思うたらそんなときはじめて契約しますのや。

もちろん、むこりの親方にいろいろ注文も出さなな。各部屋一台づつカラーテレビを置いてくれとか、部屋の大きさによりますけど、ベッドは一部屋何台までにしとくなはれとか。

そんで、あんまり無茶なこというところやったら、そらもう、はじめから手配をことわりまっさ。

そやけど、ちかごろの親方はガメツイからなかなかすんなり話のまともさるところもありまっさ。

早い話がコヤ入りの酒一本、ケチッて出すまいとする親方もいさんのや。しかし、これ

は釜のしきたりちりか、土方飯場のご定法みたいなものやさかい、つれてきた日にビールか酒を一本、酒をのまんものにはコーラかジュースを出してもろてまんのや。

え、私もその酒を飲むのかって？ そんなことはおまへん。かりにも仕事ですさかいな。そら事務所でコーヒーぐらいよばれることはありまっけど、仕事に酒だけはやりまへんねん。

そんで、手配料いくらもらってるかっていいますのかい。

それはカンニンしてえな。いうたら商売の秘密みたいなものや。第一、そんなことべらべら言うてしもたら、他の手配師仲間にくらまれません。

手配師同士いうたら、たしかに仲間うちやけど、同時に商売がたきでもおまんのや。うっかりボロ出したら商売やりにくうなってしまいませんがな。

そりてっか。私の名前出さんといてくれま

たら、相当な収入になりまんな。

そやさかい、近くの飯場と遠くの飯場と同じ日に注文があれば、どりしても遠い方から先におくることになりすわ。

え、現金でっか。私は現金はやりまへんねん。あれは朝のりちだけの勝負で、急がしいばっかりですよ。

私ら良心的にやろう思うてまっから、人を見て車に乗せてますさかい、酔っぱらいなんかはことわってまんのや。そりする朝だけが勝負の現金は、じっくりえらんでいられしめへんやおまへんか。

そやよって、私が商売はじめるのは、現金が出てしもたあとの八時すぎですわ。その時間すぎやったら、センターのいつものところにいますさかい、いつでもきたはれ。え、得意先をいくらでも持ってますさかい、え、飯場紹介してあげまっせ。

何でっか。手配師はボロイ商売やいいますのか。それはちがいます。そんなもんやお

っか。ほんまでんた。ほんまに秘密にしといてくれまんな。

ほんなら、一寸だけ言いまっせ。

短期契約でズバリ一人当り四千円と車代ですわ。

しかし、いろいろ条件によってちごてきますわ。たとえば私の場合、四千円というのは、土方のときでっけど、これがや鉄筋屋やつたらまた少し高くなりまんな。それから契約の日数によってちがいます。

ま、いろいろでんねや。

え、車代でっか。私らはみんな自分のクルマ持ってまっけどこれは大体タクシーを使うたもんとしてもらてま。大阪府下から兵庫県も尼崎西宮ぐらいやつたら一回六千円ぐらいでんた。十五日契約の上方を五人つれていたら、手配料二万円と車代で二万六千円ですわ。

もちろん、遠くへ行くほど車代はよけいもりますさかい。名古屋あたりへ出張を送っ

まへん。これで左かなか苦勞もありまっせ。

世間では手配師いうたら、人買いやとか、鬼かなんぞのように言ってますけど、そんなあんた、悪どいことして人がついてきますかいた。

たとえば五人あつめんならんときに、三人はみつけただけど、あと二人がまだやいうときがありますわ。そんなとき先の三人を車の中でボサッとまたしとくわけにはいきまへん。それでホルモン屋につれていって、一ぱいのんでまっつとけやいうことになりますやろ。

それから、作業服もたんと飛びこんでくるやつもいれば、一銭も小使いがいない人もいますわ。そんな人にはたとえ五百円、千円のタバコ銭でも貸したらならん。

え、返してもらえまっかいた。たいがいそれきりでんがな。顔をじみのものになると今日は仕事いかれへんけど、明日はかならず行くさかい一寸小使いの煙してえな、なんていうてくるのもあって、そら貸してやりますわ

な。するとそれつまり一ヶ月も二ヶ月も顔みせんかったりして、たまりまへんわ。

ホンマ、おまへんね。おまへんね。それから、せつかく飯場へつれて行ってもすぐトンコする者がいますわな。親方から苦情が出ますわ。

連中ときたら、われわれにはわからんようなところがあるまんね。気分屋というか、気まゝというか、快事のそばはんの顔が気に入らんとか、たいした理由なしにケツワリしよるさかい。ホンマでっせ。石ころけつとばしたくらのことでも、とつぜん気がかわりまへんねんア。

まア、トンコする者はそれでもよろしいがな。こっちはそうはいきまへん。手配師としての信用問題でっさかい。一日でトンコした分はりめあわせすることにしてみんね。

つまり一人トンコしたら、この次のとき一人ぶんの手配料がただですわ。五人つれていって五人トンコされたら、私は一回ぶんただ

たのまれただけの人手があつまらんと、一日中センターをうろろしてるときは、泣きたくなりました。

月曜日か、祭日の次の日があきまへんア。保険が二日分でますやろ。はたらかんと金がいいるなんてこと、だれが考えましたんやろな。あれはあきまへんで。人間からはたらく気持ちをうばりさかい、世の中にたまけ者がふえまんのや。

失業保険と健康保険と両方もろたら、あんたはたらくよりよろしいがな。一ヶ月まるまるあそんでくらすますやないか。あんなもんはよやめたらよろしいねん。

そこへいくと私ら失業保険なしだ。何も生活の保証あらしめへん。妻子は養わんならんし、楽やおまへんで。

あ、すんまへん。電話かけんならん時間でんね。

そりだんねや。毎日、夕方に得意先へ明日の注文きかんなりまへんのや。

ばたらきちうことですわ。

なかなか、はたで思うてはるほどのことはおまへんねん。

何せ、私は良心的にやってみささいな。あんまり、おかしげなやつは、はじめから車にのせてしめへん。

そら同じ手配師仲間にはいろんなのがいます。人数だけそろえればゼニになるいうわけで、ヨボヨボのじいさんやろが、ペロペロの酔っぱらいやろが、何でもかんでもつんで行くのが、たまにはいますわな。

しまいにお前めし食われんようになるぞ、そういうてやりまんのや。そうでっしやろが。私がおつてこそ、仕事のほしい人も、人手のほしい親方も両方たすかりまんのや。良心的にやらなあきまへん。

そら、年よりには年よりにむいたところがおますわ。そうか年よりの生活のめんどうみるのは政府の仕事でっしやろが。

そやけど私らにも苦勞はおまつせ。

ぼんたらまた。

(編集者から)

このはなしだけでは、日雇失業保険金というのはまるで遊んでいても支給されるような具合です。しかし実際がそうでないのは読者のみなさんが御存知の通りです。二ヶ月間二十一日働いて、日雇失業保険の手帳に雇い主が働いたシルシの印紙を貼ってくれて、それでようやく次の月から保険のカネがもらえるのです。しかも毎日ではなくて月の半分以上働いて印紙を貼ってもらっておかないと、次の月には保険金をもらい資格がなくなります。この手配師がいつてるよりな、ただ遊んでいて失業保険のカネが自動的に流れてくるのではありません。もっと勉強せなあかんので、よくしゃべってくれたと思います。